

小倉薬剤師会 1月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、以下の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

【日時】 2019年 1月 22日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

「マイサイズを使ったおいしい減塩習慣」
～すべての生活習慣病予防は減塩から～

大塚食品株式会社ヘルスプロモート部
栄養士 永岡 恵 先生

【PS】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2、②-6
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ①-13・22・24・33、②-134・150・151

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 入江 利行

『薬局薬剤師が主導する腎機能を考慮した医薬品
適正使用 ー確認する・回避する・科学するー』

演者 熊本大学大学院生命科学研究部

薬剤情報分析学分野 助教 近藤 悠希 先生

<講演会要旨>

近年の本邦における慢性腎臓病 (CKD) 患者の割合は成人の8人に1人、高齢者においては3人に1人にまで達している。また、腎機能低下患者の多くは外来診療で管理されており、院外処方せん発行率が70%を超えていることをあわせて考えると、薬局には多くの腎機能低下患者が来局しているはずである。したがって、薬局薬剤師が腎機能低下時の薬物療法の適正化において、重要な役割を担っていることに疑いの余地はない。一方、薬局薬剤師が前述の役割を担うためには、様々な障害や問題が存在する。

本講演では、演者らが薬局薬剤師による腎機能低下患者の医薬品適正使用を推進することを目的として行ってきた、薬剤師や患者を対象とした調査研究や、腎排泄型薬剤処方監査システムの開発・製品化、薬剤性腎障害の臨床情報解析など、薬局薬剤師と腎機能に着目した取り組みについて紹介する。

共催：(一社)小倉薬剤師会 大塚食品株式会社 富田薬品株式会社

子育て中の薬剤師の先生方へ

会員の先生方からご要望があり、11月の学術研修会より、**小さなお子様同伴でも研修会にご参加いただけるように**、研修中は小倉薬剤師会館の**2階会議室も常時開放いたします**。

今まで、お子様が小さいがために研修会の参加を断念されていた方は、**これを機に奮って研修会にご参加ください**。なお、以下の点においてご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 2階会議室はサテライト会場のため、TVモニター越しでの聴講となります。研修会終了時にご質問等がある場合は、3階の研修室に移っていただかないとお受けできませんので、ご了承ください。
- 研修中は、小さなお子様がケガなどされないよう、保護者の責任のもと安全面へのご配慮をお願いいたします。